

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	身体拘束をしない実践をしているが、帰宅願望の強い入居者様、感情を激しく表現される入居者様の思いを受け入れることが困難な時がある。歩行不安定な方の突然の立ち上がりによる転倒防止のため、ご家族へ説明しご理解の上オーバーテーブルを使用している。	日々の行動、言動に気配り、理解し、入居者様の思いを少しでも受け入れられるように努める。転倒によるけが等の予防のためであるが、行動を一部制限する対応であり、このような目的でのオーバーテーブルの使用は極力抑えたい。	頻回の行動をされる方は、常に付き添い、見守りを行う。 職員同士の連携をうまく図ることにより、行動制限の対応を減らすようにする。	6ヶ月
2	8	イベント等を通じ出来るだけご家族、ご友人、知人の方々多くの方が面会に来て頂けるように、ご本人とご家族の絆を大事にしながら職員全員で支えていきたい。また、馴染みの人、場所との関係が途絶えない様に支援したい。	ご家族、ご友人の方々が気軽に来て頂けるよう明るい雰囲気づくりをし、気候がいい日等には付近を散歩、ドライブ等で楽しんで頂くようにする。	職員全員で楽しく明るい雰囲気づくりに心掛け笑顔で対応する。 日時を決め定期的に少人数での外出、入居者様のニーズに合った支援をしていく。	6ヶ月
3	21	毎日レクリエーション等で入所者様同士の関係がうまくいよう支援しているが、多人数に馴染めなかったり一人を好まれる方等、対応に苦慮することがある。	一日の中で一時でも多勢の中で過ごせるように、入居者様の思いを聞き、少しでも馴染んで頂けるように支援していく。	・時間を決めダイルムへ出ていくようにして、孤立させないように常にそばにより、楽しい雰囲気を味わって頂くようにしている。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。